

第8回 サステナブル住宅賞 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構理事長賞

主催：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

ライオンズ港北ニュータウンローレルコート —パッシブとスマートを融合した次世代環境共生住宅—



—地域に根ざした、かつてない「持続可能な住まい」を目指して—

本物件は、港北ニュータウン最大の特徴であるグリーンマトリクスを敷地内に再現した221戸の集合住宅である。その実現のため、緑地率を30%確保し、ビオトープ・せせらぎを計画した。いずれも維持管理コストがかかる設備だが、居住者の負担を軽減し長く使っていただくために、水・緑・光・風の自然エネルギーを有効活用するパッシブ手法に、最新のテクノロジーを組合せ、飛躍的な維持管理コストの削減を実現。さらに、地域の生態系を学ぶ環境教育プログラムを取り入れ、居住者自らが水や緑に愛着をもてる仕組みを創り出した。このハード・ソフト両面からのアプローチにより、かつてない持続可能な住まいが実現した。

1. 港北NTを敷地内に再現

2. 維持管理コストの削減

3. 愛着を生み出す

1. 港北NTを敷地内に再現

港北ニュータウンの最大の特徴「グリーンマトリクス」を計画的に再現



2. 維持管理コストの削減 スマートとパッシブの融合により、維持管理コスト削減と災害対策を行う

自然の力に最新テクノロジーを組合せ、飛躍的に維持管理コストを削減

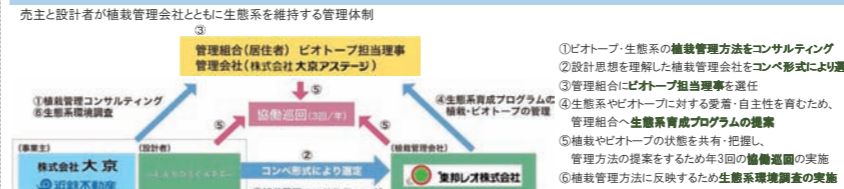


3. 愛着を生み出す 居住者自らが水や緑に愛着をもてる仕組み

地域の良好な自然環境を取り込み、「人」「緑」「いきもの」のつながりを創出
「生態系配慮型の管理」体制を構築し、生態系への愛着や自主性を育むことで、「持続可能な住まい」を実現



①生態系配慮型の管理体制を構築 「作って終わり」ではなく、何年にも渡り生態系をしっかりと維持



②生態系育成プログラムの運営 居住者自らが、水と緑に愛着を持っていただく各種プログラムを実施



生態系調査・維持活動
居住者と一緒に植栽とビオトープの環境調査、巡回を行い、植栽維持管理を共同で立案

生態系育成イベント
居住者の方に自然環境を「体感し、学び、育んで」いただくための生態系育成イベントを実施

巡 協働巡回
専門家が行う環境管理状況の巡回に参加します。調査の適切な管理方法を学ぶことができます。

環 環境調査
ビオトープの動植物を調査して記録を取ります。調査は専門家とともに実施し、環境調査と環境管理の改善に役立ちます。

放 メダカ、ヌマエビ等の放流会
ビオトープの生態系の保全に役立て、いきものを放流します。体験を通じて環境を大切に育てる心を広げます。

野 野鳥のえさ台、巣箱づくり
野鳥のえさ台、巣箱づくり。野鳥のえさ台、巣箱づくり。野鳥のえさ台、巣箱づくり。

研 夏休み研究
夏休みの研究の一環として、ビオトープ、植栽・水辺環境を調査し、観察記録をとり、報告書を作成します。

③3年間に渡る各種活動の継続 居住者が主体性を持ち維持管理する体制の醸成



居住者が「主体性」を持ち「愛着心」が育ち「意識」が向上していることを実感

物件名	ライオンズ港北ニュータウンローレルコート
建築主	株式会社大東・近鉄不動産株式会社
設計・監理	株式会社IAO 竹田設計 三井住友建設株式会社一級建築士事務所
ランドスケープデザイン	株式会社ランドスケープ・プラス
施工者	三井住友建設株式会社 横浜支店
所在地	神奈川県横浜市都筑区北山田5丁目17番27
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上8階建て (建築確認申請上は地下1階、地上7階建て)、 陸屋根、共同住宅
総戸数	221戸
建築戸面積	20,570.82㎡
竣工年	平成27年8月24日

